

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 5 月 5 日

事務事業名		塚田伝奨学資金支給事業				事業区分		担当	
政策体系		政策体系上の位置付け				新規/継続		事務事業No.	
総合計画の施策名		0301 学校教育の充実				単独/補助		030103000164	
政策名		03 豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり				単独		090101	
施策名		01 学校教育の充実				主要事業		所属課	
基本事業名		03 教育体制の充実				対象外		学校教育課	
						市長マニフェスト			
						対象外			
						未来PJ事業		グループ	
						合併建設計画事業		総務グループ	
						対象外			
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	単年度繰返し (年度~)		
	01	10	01	02	02	00	一般会計		
							事務局事業		
法令根拠							期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入		

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
昭和52年真壁町大字源法寺在住の塚田伝氏より、真壁町が2,005万円の教育寄付を受ける。 以降塚田伝奨学資金支給条例を制定し、基金の運用を図っている。 条例に基づいて優れた生徒または学生で、経済的な理由によって就学が困難な者に対して、奨学資金を支給し有為な人材の育成を図るものである。	奨学生を選考し、授業料相当額を奨学資金として、毎月、口座振替により支給する。 塚田伝奨学学生選考委員会・審査会の開催・奨学生の選考・決定通知等関係書類作成及び通知 毎月：奨学金の支給手続き

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
奨学生を選考し、授業料相当額を奨学資金として、毎月、口座振替により支給する。 塚田伝奨学学生選考委員会・審査会の開催・奨学生の選考・決定通知等関係書類作成及び通知 毎月：奨学金の支給手続き	選考委員会の開催数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	塚田伝奨学資金の支給した回数	回	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
	塚田伝奨学資金の金額	円	9,900.00	9,900.00	9,900.00	9,900.00	9,900.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
塚田伝奨学資金支給対象となる中学3年生	支給対象となる中学3年生	人	10.00	9.00	10.00	10.00	10.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
優秀な生徒または学生であって経済的な理由により就学が困難な者に支給する。	奨学資金を支給された人数	人	10.00	9.00	10.00	10.00	10.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)	期間限定総投入量	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	1,194	1,069	1,069	0	0
	事業費計 (A)	千円	1,194	1,069	1,069	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人		
	述べ業務時間	時間	635.00	63.00	63.00	63.00	63.00	
	人件費計 (B)	千円	1,842	183	183	183	183	
トータルコスト (A)+(B)		千円	3,036	1,252	1,252	183	183	

事業費の内訳	27年度事業費 実績 (千円)			28年度事業費 予算 (千円)		
	20 扶助費	1,069		20 扶助費	1,069	
	合計	1,069		合計	1,069	

(4) 当該年度の実施内容	28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する			
<ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 			

事務事業名	塚田伝奨学資金支給事業	事務事業No.	30103000164	所属課	学校教育課
-------	-------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 昭和52年真壁町大字源法寺在住の塚田伝氏より、真壁町が2,005万円の教育寄付を受ける。以降塚田伝奨学資金支給条例を制定し、基金の運用を図った。
 昭和52年から平成24年まで134名の奨学生に授業料として奨学金を支給。支給金額は30,452,100円。2,005万円の基金の取り崩しをせず利子の運用のみで対応。18年度からは基金の取り崩しを行い、奨学資金に充てている。平成22年度県条例改正に伴い授業料無料化になったため、学用品等として授業料相当額を支給。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 受給した奨学生及び保護者からは大変感謝されている。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	奨学生が授業料相当の奨学金を修学資金に充てている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	塚田伝奨学資金により、経済的理由等による就学困難者が、学校教育を安心して受けられる。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	選考委員会で厳密に審査し決定しているため、向上の余地はない。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	廃止することにより、就学困難者が学校教育を安心して受けられなくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨	<input type="checkbox"/> 余地がない	類似事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	最低限のコストで対応しているため、削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	選考委員会で厳密に審査し決定しているため、公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成26年度は、10名に奨学資金を支給した。奨学生から学校生活の様子や近況を伝えた手紙等が塚田氏のもとへ送られている。選考審査会の結果、平成27年度から3名の奨学生が決定された。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(6) 事務事業優先度評価結果																								
成果優先度評価結果 ⑦																								
コスト削減優先度評価結果 ⑥																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>